

【著作権について】

このテキストは、著作権法で保護されている著作物です。

このテキストの著作権は、合同会社アカデミアに属します。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

【使用許諾契約書】

本契約は、本冊子を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者：合同会社アカデミア（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に合意したことになります。

第1条：本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条：禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条：損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、乙は甲に対し、損害賠償を請求する場合がありますのでご注意ください。

第4条：契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条：責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

声かけテンプレ

声かけ前に、まずホテル街に行き

シュートノック(大の字)を 10 人以上行ってから(地方は5人以上)、

街に出て、ストリートの声かけを行う

まず、追走しながらターゲットの共有スペースを探しておく

相手の斜め前に出て、アイコンタクト、ヘソコンタクト、距離 1m

相手を凝視して、相手の視線が来るのを待つ(タメを作る:2,3 秒)

相手から視線が来たら、大きな声で発声(相手の後ろの人に聞こえるように)

抑揚をつけて、テンションを上げて声かけする

【共有スペース弄り】

「こんにちは、お姉さん、その〇〇素敵ですね」

(例)「こんにちは、お姉さん、そのバッグ素敵ですね」

※〇〇には共有スペース(かばん、服、持ち物など)を入れる

具体的に物の名前を言って褒める。「その恰好素敵ですね」はダメ。

褒め方は、他に、「似合ってる」「可愛い」「高そう」等でも OK

①「どこで盗んできたんですか？」

他に、「どこで拾ってきたんですか？」等も OK

さらに以下を3連打で「相手の反応をスルー」して言い切る(どこで盗んだの場合)

②「いつも盗んでるじゃないですか」

③「盗んだって顔に書いてありますよ」

④「お母さん泣いちゃいますよ」

さらに以下を続ける(バッグの場合)

「俺のこのバッグ、100円なんですよ」

「お姉さんの高そうなバッグと交換してくれたら有難いんですけど」

「交換してくれたら2秒でルンルンで帰ります」

さらに弄り連打をしても良い

【正面大の字止め＆方向転換】

方向転換の前に、相手の斜め前の位置取りをしておく

「ちょっと待って！」と大声で言って

正面に大の字で立ちはだかり立ち止める

相手が止まったのを確認して

立ち話をせず、すぐに方向転換すべき進行方向に自分が出て、

「こっちこっち」と相手を誘導する

【予定聞き&弄り連打】

「で、これからどうするんですか？」

(例)

「帰る」→家ないのに？

「友達と会う」→友達いないのに？

それ以外

「また〇〇するの？」

決めつけ連想トークでさらに弄り連打する(4 連打以上)

深掘り質問をする

(例)

① 帰るの場合→「帰ってどうするの？」

② 友達と会うの場合→「友達と会ってどうするの？」

決めつけ連想トークでさらに弄り連打する(3連打以上)

※特に予定聞きからの弄り連打は、「シャドーイングの力」と思って良い。

カフェ打診(ホテル打診)をする

相手の会話に出てきた話題を入れて、さらに失礼さを入れた打診をする。

(例)友達に会う場合。→「友達ばかりカフェってのがあってから行こうよ」

実際はラブホテルに向かう。

新宿歌舞伎町、大阪難波の場合には、ラブホテルは必ず「バリアン」に向かう。

他のホテルがあってもスルーする。

【さらに方向転換を何回も行う(相手を振り回す)】

(ラブホテル(バリアン)前まで来たら、立ち止めて)

「ここが〇〇カフェなんですよ」

「あれ(ホテルの看板を指さして)読んでみて」

(ホテルと答えたら)

「お姉さん、凄い、よく読めたね」「中学出てるの？」

さらに、弄り・ふざけを連発して、漫才みたいにする(5分くらい粘る)

どうしてもダメそうだったら、2軒目の打診をする

ラブホテル打診は

「1軒当たり5分以上」かつ「5軒以上」

打診する

(5－5の法則)

相手が、カフェや居酒屋等なら大丈夫と言っても耳を貸さず、シュート連打に徹する

絶対に、カフェや居酒屋等には行かない(行ったら退塾処分)

LINE 交換は、媚びる行動なので、ゲット前には絶対にしない(やったら退塾処分)

※ホテル前拒否が多いのは「Sっ気不足」が原因(弄り連打不足、方向転換不足)。

※金銭要求も「Sっ気不足」が原因。

※シュートが打てないのは「方向転換不足」が原因。

弄り連打と方向転換を徹底する。

普段から実録音声のシャドーイングを徹底する(毎日2時間以上)。

ストに出る直前にシャドーイングをし、現場で塾長が乗り移った状態をつくる。

※本テンプレは、10 ゲットまでは必須。

10 ゲット後は、テンプレから外れても良い。ただその場合は、テンプレ以上の弄り連打が必須となる。

※ゲットカウントの 3 条件(10 ゲットまで)

(以下の全てを満たしたゲットがゲットカウントとなる)

- ① 共有スペースは相手の反応をスルーしてテンプレを言い切る
- ② 予定を聞く前に、正面に大の字で立ちはだかつて立ち止め&方向転換トライ
- ③ 予定聞き直後から、弄り4連打以上